

SAGAMIHARA
KENOH

相模原 県央

情報は
こちらへ

- 相模原総局 ☎042(752)0430
FAX042(752)6585
- 県央総局 ☎046(224)0155
FAX046(221)5837
- 厚木支局 ☎046(221)3402
FAX046(221)3400
- 大和支局 ☎046(261)3222
FAX046(261)3412

情報スクランブル

催し

◆「六人飛色(ろくにんといろ)」
19日まで午前11時～午後7時(19日は午後4時まで、木曜日休廊)、カフェギャラリーシード(相模原市南区南台6丁目)。天然石アクセサリー、紙文具、革小物、布小物など個性豊かな作品を展示・販売。入場無料。問い合わせは、カフェギャラリーシード☎042(785)3533。

◆紙芝居で楽しむ宮沢賢治の世界～紙芝居とチェロのコラボレーション
16日午後1時半開場、2時～3時半、相模原市立図書館2階視聴覚室。出演は本多千賀子さん(紙芝居)、小杉雅彦さん(チェロ)。演目は「注文の多い料理店」「セロひきのゴーシュ」ほか。入場無料。定員は先着40人。直接会場まで。問い合わせは、同館☎042(754)3604。

◆第1回相模女子大学書道部/美術部合同展 14～16日午前10時～午後6時半(14日は午後1時から、16日は午後5時まで)、相模大野ギャラリー(相模原市南区相模大野4丁目、市民ロビー相模大野内)。同大学書道部と美術部による合同展。書作品10点ほど、油彩、水彩画などの絵画作品を約30点展示。賛助作品は同大学理事長・大塚光子さんのデッサン1点と顧問の柿木原紫鈴さんの書作品1点を展示。入場無料。直接会場まで。

自費出版は本社企画編集部へ
お問い合わせ☎045(227)0820
ファクス☎045(227)0815

「朝市」でにぎわい

西門商店街に3万人

相模原



相模原市中央区の西門商店街で9日、朝市サミットが開かれた。地域の特産がB級グルメまで、県内の

家族連れでにぎわった朝市サミット

相模原市中央区相模原

朝市出店者による1400のブースが通りを埋め、3万人の出入でにぎわった。朝市サミットは県内の朝市グループが集まり、平塚、横浜、小田原で開催してきた。朝市が持つ集客力に目をつけた西門地区商業地活性化協議会が「商店街の再活性化に向けた機運を高めたい」(浦上裕史会長)と誘致した。

同市南区から足を運んだ女性(46)は、平塚の干物店「高甚商店」のブースで太刀魚の干物を買った。「西門は通勤途中に通るだけだったが、きょうはにぎやか」と財布のひもも緩みがちな様子。「また朝市があれば来たい。次は新鮮な野菜を探したい」と話し

ていた。商店街の再生をテーマにしたシンポジウムも開かれ、中央大学大学院の細野助博教授が講演。詰めかけた商店

主らに高齢化の現状を示しながら、「お年寄りにとり、近場の商店街は重要な社会インフラとして価値が高まっていく。生活用品が手に

入るだけでなく、ご用聞きや、いざというときの避難場所としても果たせる役割はある」と力説した。(石橋 学)

海老名市 くじ付きカレンダー発売

姉妹3市の特産を

海老名市はトライアングル交流をしている北海道登別市、宮城県白石市とともに2013年版カレンダーを発売した。3市の特産品が毎月当たるチャンスがあり、海老名市は「宝くじ以上の確率がある」と話している。

3市は白石市を間にそれぞれ姉妹都市となっており、11年4月にトライアングル交流宣言をした。プレゼント付きカレンダーはもとも登別市が単独で発行しており、海老名市は今回で2回目の参加となる。

海老名市は吟味豚やえびなガレットなど、白石市は純米酒、温麺など、登別市はシフォンケーキ、ジンギ



スカンなど、毎月2市から各10人に特産品が当たる。

「昔の風

毎月プレゼントが当たるチャンスがあるカレンダー

未に予定されていたが、機

始



の間、同

●中学校
られる
立上溝中
の校舎の
された、
被害を確
原署に被

専